

**ヤングケアラーについて、改めて理解を深め、
先進的な取り組みについて知る機会としませんか？**

日時：令和8年8月21日（金） 13：15～15：45（受付13：00～）

場所：富山県民会館701研修室（富山県富山市新総曲輪4-18）

定員：70名（定員に達した場合は先着順とします） 参加費：無料

講義 「ヤングケアラーの現状と支援の課題」

講師 立命館大学 産業社会学部 現代社会専攻 教授 斎藤 真緒 氏

立命館大学産業社会学部教授。専門は家族社会学。2018年9月～2019年9月までシェフィールド大学the Centre of International Research on Care, Labour and Equalities客員研究員。「男性介護者と支援者の全国ネットワーク」運営委員。思春期保健相談士。(公財)京都市ユースサービス協会の「子ども・若者ケアラー事例検討会」事業(2017年3月～2022年2月予定)の発起人。「子ども・若者ケアラーの声を届けようプロジェクト(YCARP; Young Carers Action Research Project)」(2021年9月～)発起人。2024年より、「ケアリング・ソサイエティ(ケアに満ちた社会)」の実現のためCAREFILプロジェクト(ケアラーの社会的孤立・孤独を予防するためのしくみづくりを考えるプロジェクト)を実施している。主著：『子ども・若者ケアラーの社会学—ケアリング・ソサイエティの創造』(共著、クリエイツかもがわ、2026年4月)、『男性介護者白書—家族介護者支援への提言』(共著、2007年、かもがわ出版)



講演 「ヤングケアラー当事者としての“想い”と“その後”」

講師 元ヤングケアラー・当事者スピーカー 高岡 里衣 氏

9歳の頃に母が難病を発症し、以後24年間にわたって家庭内で中心的にケアを担った。ケア責任と自己実現の両立に悩んだ経験をもとに、元ヤングケアラー当事者として全国での講演や執筆活動を行う。行政機関や民間団体を通じてヤングケアラー支援活動にも携わり、こども家庭庁の出前講座(2023・2024年度)でもゲスト講師を務める。自身のケア経験とその後をまとめたエッセイ『子どもでいらなかったわたしたちへヤングケアラー「その後」を生きる』を2025年11月に子どもの未来社より出版。共著に『ヤングケアラーわたしの語り』(澁谷智子編、生活書院、2020年)。



グループワーク「多機関連携による家族まるごと支援」

お申し込み：URLまたは二次元コードよりお申し込みください。

URL：https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/ypjPY26u

お申し込み期限：令和8年8月12日（水）



\令和8年度第2回研修会（令和8年11月16日（月）を予定！）についてお知らせ/

**今年度第2回研修会は、事例検討会を行います！事例の子ども・若者について、どのように関わる
ことが望ましいか、富山県内の社会資源ではどのような支援方策が考えられるか多職種で検討します。**

お問い合わせ：富山県厚生部こども家庭室こども政策課 076-444-9683